

## G7 科学技術大臣会合関係者が東北大学災害科学国際研究所を視察しました (2023/5/13)

テーマ：G7 仙台科学技術大臣会合 エクスカーション  
会場：東北大学災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

2023年5月12～14日、仙台市にてG7 仙台科学技術大臣会合が開催され、地球規模課題の解決に向けた科学技術協力の強化等について議論が行われました。うち5月13日は、同会合エクスカーションの一貫として、高市早苗 担当大臣、G7 諸国の科学技術大臣の方々をはじめとする関係者が、東北大学災害科学国際研究所（IRIDeS）を訪問・視察しました。

同視察では、はじめに大野英男 東北大学総長がご挨拶を行い、栗山進一 IRIDeS 所長、今村文彦 災害科学世界トップレベル研究拠点長を紹介しました。また、IRIDeS が仙台防災枠組をはじめとする国際アジェンダを推進してきたことや、現在も、同枠組の中間評価に貢献しようとしていることなどを述べました。次に、マリ・エリザベス 准教授が当研究所の概要説明を行いました。

続いて当研究所の特色ある研究例を紹介しました。まずは越村俊一 教授が「災害デジタルツインとスマート・レジリエンス」と題して次世代防災システムについて説明しました。その後、展示スペースに移動し、田所諭 教授が災害対応ロボットの最前線を、蝦名裕一 准教授とモリス・ジョン 特任教授（客員）が、歴史が導く災害科学についてそれぞれ説明しました。司会は泉貴子 教授が担当しました。

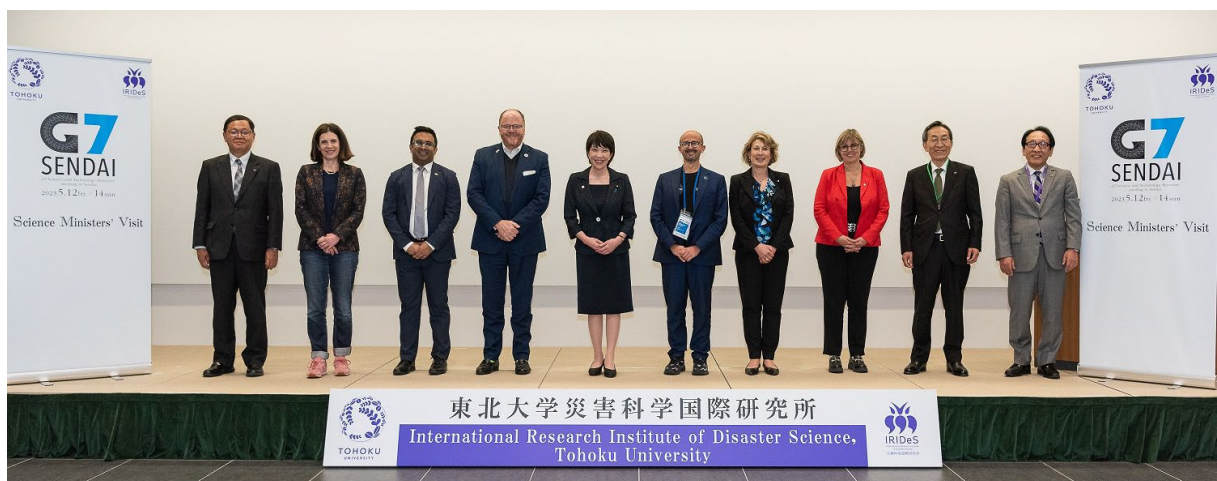
当日は、IRIDeS 執行部、G7 諸国とこれまで連携活動を行ってきた教員、広報室、事務部など、当研究所の教職員が広く参加しました。また、当研究所の研究者がこれまでに実施した、G7 の国々に拠点を置く研究者や組織との連携研究・活動事例をまとめた冊子も配布しました。

最後に、栗山所長は今回の訪問に対する感謝表明を行い、「IRIDeS は東日本大震災の被災地の復興に貢献し続けているとともに、同震災をはじめとする災害に関する知見やデータを収集してきましたが、今後も知見を共有しあって、世界の災害リスクを共に減らしていきましょう」と締めくくりました。当研究所を視察した G7 諸国の科学技術大臣の方々をはじめとする関係者からは、「非常にわかりやすかった」「興味深かった」とのコメントがありました。

今回の訪問を機に、G7 諸国において、東日本大震災の教訓から生まれた科学への興味と理解が深化し、災害科学分野における国際協力が一層進むことが期待されます。

当日配布した冊子は以下に掲載しています。

[https://irides.tohoku.ac.jp/research/intlcoop/g7sci-technol\\_visit\\_jp.html](https://irides.tohoku.ac.jp/research/intlcoop/g7sci-technol_visit_jp.html)



記念撮影



大野総長挨拶



IRIDeS 概要説明（マリ准教授）



越村教授



田所教授



蝦名准教授・モリス特任教授（客員）



泉教授



会場の様子



展示スペースの様子